

「鹿ノ台ぐるぐるバス」の運行計画について

1. はじめに

鹿ノ台地区は、生駒市地域公共交通総合連携計画において、公共交通サービスを提供すべき地区と明記されている。

現在、鹿ノ台地区の自治会を中心に住民が自ら運行実施に向けてアンケート調査や運行計画の内容（運行経路、運行日数、運賃等）の取りまとめを行うなど、地域に即したコミュニティバスの運行計画の検討を行っている。今後、鹿ノ台地区でコミュニティバスの実証運行を実施したいと考えているため、本協議会において鹿ノ台ぐるぐるバスの運行計画の内容を議論し、運行実施に向けた支援を行いたいと考えている。

そこで本資料では、鹿ノ台地区における特徴や課題および現在鹿ノ台地区で検討されているコミュニティバスの運行計画について整理を行った。

2. 鹿ノ台地区について

2.1 概要

- 面積：121.8ha（約36万坪）、地区人口：7,101人、世帯数：3,032（2019.12.1時点）
- 中心部：スーパー、商店街、医院、いきいきホール、公民館、金融機関等が立地している。
- 周辺部：4集会所があり、南北の中央通りに路線バスが運行している。

2.2 地域特性

- 高齢化（65歳以上人口：2,922人）比率が全体（7,101人）の41.2%を占める超高齢地区であり、生駒市の平均高齢化率（27.9%）を大きく上回る。（2019.12.1時点）
⇒75歳以上は1,474人であり、全体（7,101人）の20.8%を占めている。
- 坂道の勾配が急な住宅地になっている。
⇒最大高低差：約75m、南北の距離：約1,600m 東西の距離：約1,400m

2.3 地域の意見・課題

- 買い物や通院、イベントに参加するための会場まで行くのがつらい。
- 家に閉じこもりがちになり、友人や知人との交流が少なくなる。
- 高齢化のため運転免許を返納し歩かざるを得ない状況となっているが、脚力の低下により坂道の上り下りがつらい。
- 子育て世代は、ベビーカー等での移動が困難である。

3. 「鹿ノ台ぐるぐるバス」運行計画について

3.1 アンケート調査の実施（鹿ノ台自治会による調査）

3.1.1 アンケート調査の概要

○実施日：平成 29 年 12 月

○調査対象：全自治会員（2,561 世帯）

○アンケート回収率：89.3%

⇒ 男性：1,737 人（44.6%）、女性：2,158 人（55.4%）、合計：3,895 人

⇒ 65 歳未満：1,631 人（41.9%）、65 歳以上：2,262 人（58.1%）

3.1.2 アンケート調査の結果（一部抜粋）

①今後、「5年の間に利用したい」と考えている人は、全体(3,893人)のうち800人(20.5%)

⇒「すぐに利用したい」と考えている人は全体（800人）のうち326人（40.8%）

⇒「5年の間に利用したい」と考えている人うち、65歳以上は673人(同年齢層の29.8%)、

75歳以上：387人（同年齢層の41.3%）

5年の間に 利用したい	将来利用 したい	利用しない	未回答	回答者数
800人 (20.5%)	2,101人 (54.0%)	944人 (24.2%)	48人 (1.2%)	3,893人 (100%)

※小数点を含む計算のため、総計は100%にならない。

「5年の間に利用したい（800人）」と考えている回答者の内訳（頻度別）

すぐに 利用したい	1～3年後 利用したい	4～5年後 利用したい	回答者数
326人 (40.8%)	262人 (32.8%)	212人 (26.5%)	800人 (100%)

※小数点を含む計算のため、総計は100%にならない。

「5年の間に利用したい（800人）」と考えている回答者の内訳（年齢別）

65歳未満 (回答者数:1,631)	65歳以上 (回答者数:2,262)	うち75歳以上 (回答者数:938)
127人 (7.8%)	673人 (29.8%)	387人 (41.3%)

※ 〇 内は同年齢層の占める割合を示す。

②「5年の間に利用したい」と考えている人（800人）のうち、「毎日利用したい」人は83人（全体の10.4%）、「週に数回利用したい」人は453人（全体の56.6%）

毎日利用 したい	週に数回 利用したい	月に数回 利用したい	たまに 利用したい	不明	回答者数
83人 (10.4%)	453人 (56.6%)	145人 (18.1%)	106人 (13.3%)	13人 (1.6%)	800人 (100%)

【考察】

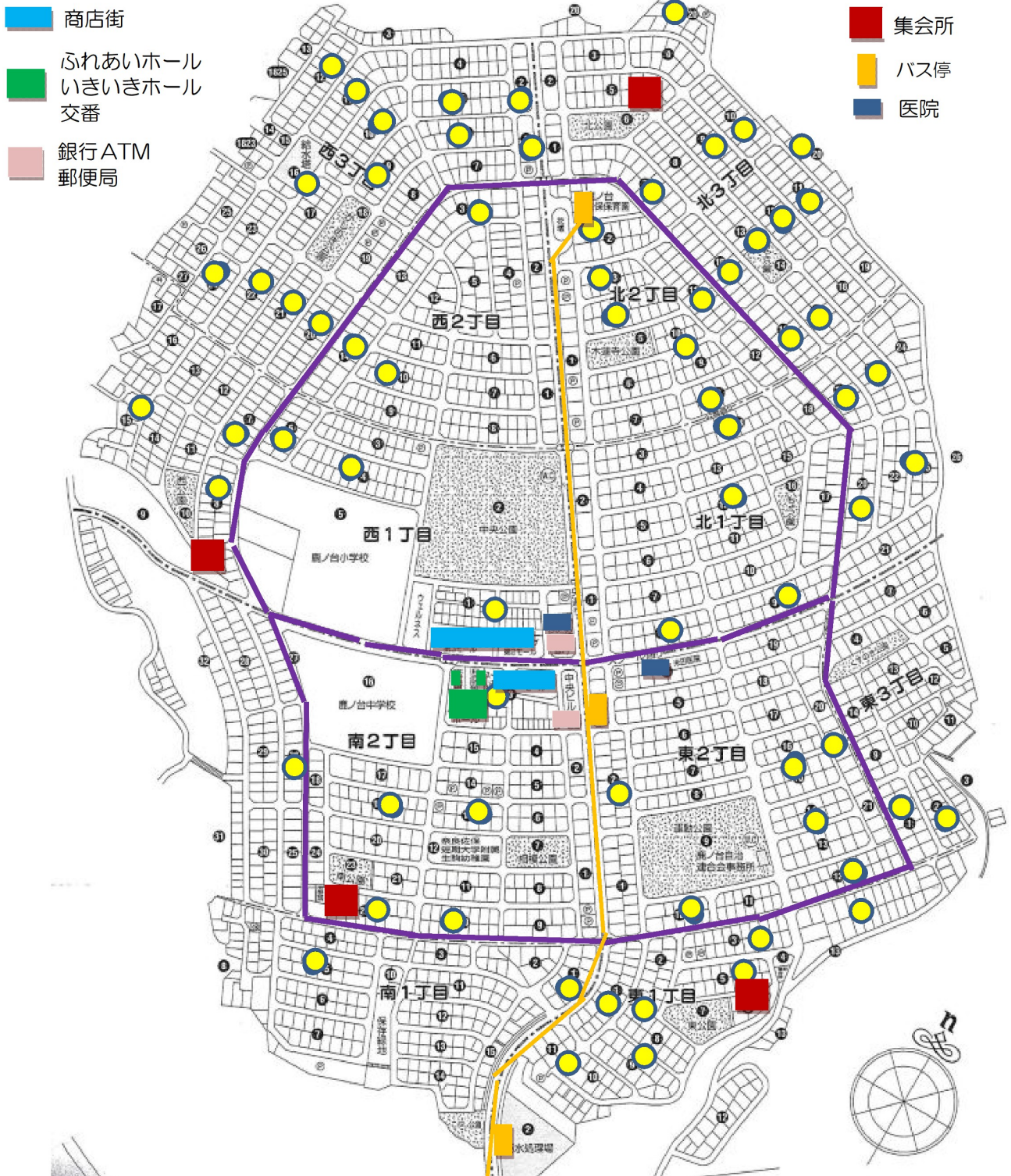
○5年の間に・・・

- ・800人（全体（3,893人）のうちの20.5%）がバスを利用したいと考えている。
- ・75歳以上（938人）のうち、41.3%（387人）がバスを利用したいと考えている。
- ・65歳以上（2,262人）のうち、29.8%（673人）がバスを利用したいと考えている。
- ・65歳以下（1,631人）でも8%（127人）がバスを利用したいと考えている。

○また、「将来利用したい」と考えている人（2,101人）を含めると、全体（3,893人）のうち74.5%（2,901人）がバスを利用したいと考えている。

○以上のことから、ぐるぐるバスに対する住民のニーズは高いことが確認される。

③今後、「5年の間に利用したい」と回答した人が4人以上いるブロックを以下の通り整理した。



鹿ノ台ぐるぐるバス運行計画(案) 住民アンケート結果
 5年の間に、利用したい人が4人以上いるブロック (●)

3.2 「鹿ノ台ぐるぐるバス」運行計画の内容について

3.2.1 運行計画の概要

アンケートの調査結果を踏まえて、鹿ノ台自治会のメンバーが運行事業者と運行計画の内容について議論を行った。現時点における運行計画の内容は以下の通りである。

○運行経路：鹿ノ台の中を北回り⇔南回りに運行する。一部は登美ヶ丘まで運行する。

⇒路線図は、図 3-2-1 を参照のこと

○運行日数：週 3 日（月・水・金）：年間 145 日

○運行時間：午前 10 時～午後 5 時

○運行回数：30 分間隔（12 便/日）

○乗車運賃：登美ヶ丘まで：190 円、鹿ノ台内のみ：100 円を検討している。

3.2.2 運行費用の見積（年間）について

（単位：千円）

運行費用	項目	費用
	車両確保費	1,296
	運行費	3,626
	合計	4,922

・車両：ハイエース・コミューター（14 人乗り）

通常の乗合バス対応、運賃箱、降車ボタン装備（福祉的な対応はしない）

・車両確保費は「5 年リース」、1 年分の費用を計上



※停留所名は仮称

図3-2-1 「鹿ノ台ぐるぐるバス」の路線図 (検討案)

4. 今後の検討課題および方向性

「鹿ノ台ぐるぐるバス」運行計画検討に際して、今後検討が必要であると考えられる課題について、以下の通り整理を行った

○運行シミュレーションによる収支予測の検討

⇒「鹿ノ台ぐるぐるバス」を運行するにあたり、どの程度の運賃収入（現時点において運賃は、登美ヶ丘まで：190円、鹿ノ台内のみ：100円を検討中）を得ることができるかシミュレーション（試算）を行う必要がある。

○自治会等負担の見積と費用の捻出方法の検討

⇒コミュニティバス利用者の運賃収入のほか、自治会等による負担によって運行費用を賄うことからその見積・費用捻出方法などの検討を行う必要がある。

○鹿ノ台ぐるぐるバス停留所設置の検討

⇒運行経路については概ね検討を行っているが、バスの停留所について住民の意見を踏まえながら設置箇所について検討を行う必要がある。

○既存バス路線での大型、中型バスの併用運行の可能性の検討依頼

⇒現在、鹿ノ台地区では南北方向に路線バスが運行しているが、時間帯に応じて鹿ノ台地区の住宅内への運行（延伸）も考えられる。しかし、車両の大きさも考慮する必要があることから中型バス等の併用運行の可能性についても検討が必要となる。そのため、これら課題について運行事業者と協議を行いながら検討を行う必要がある。

○その他

⇒その他、検討途中において生じる課題については、生駒市および運送事業者との緊密な連携・コミュニケーションを確保しながら検討を進めていくこととする。（円滑に検討を進めていくために、鹿ノ台地区において「ぐるぐるバス運営協議会」を設立する。）